５．大阪商業大学での起業教育取組紹介

①第13回 全国高等学校ビジネスアイディア甲子園



大阪商業大学では、世に役立つ人物の養成という建学の理念の下、実学教育の実践に注力してきました。本学では、実学教育のひとつとして、起業教育を行っています。本学の起業教育では、本学学生向けの取り組みだけでなく、産学および産官学連携、高大連携の取り組みも行っています。本学は、高大連携の取り組みの一環として、13年前から全国高等学校ビジネスアイディア甲子園を開催してきました。全国高等学校ビジネスアイディア甲子園は、高等学校での起業教育の実践の場を提供するべく、全国の高校生を対象に新しい商品やサービスに関するアイディアを募集するコンテストです。

第13回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園を開催し、176校から、8,109件のビジネスアイディアの応募がありました。審査は応募書類による事前審査、１次、２次審査を経て、応募書類とプレゼンテーションによる最終審査となります。最終審査には、様々な知識を持った審査員でより公正かつ公平な審査を行っています。



最終審査および表彰式では、記念講演を数年前よりアイディアの創出を主眼にしています。これは、高校生にとって、数ステップ先にある起業より、もっと身近なテーマの方がイメージしやすくわかりやすいのではないかとの発想に基づいています。

また、表彰式後に交流会の中で株式会社いわさきのご協力を得て食品サンプルづくり体験と教員相互情報交換会を開催しました。

総　括

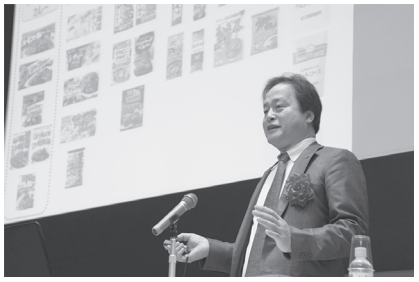
第13回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園は、平成26年9月1日（月）から募集を開始し、平成26年10月3日（金）に応募を締め切りました。応

募総数8,109件から、事前審査、1次、2次審査を経て、最終審査にアイディア作品8件がノミネートされました。

最終審査および表彰式は、平成26年12月13日（土）に本学のユニバーシティホール蒼天にて行われました。最終審査では東京都立六郷工科高等学校佐藤光さんのアイディア名「Acle」（粒状・除菌ハンドクリーナー）がグランプリに輝きました。







また、記念講演では、ハウス食品株式会社事業戦略本部食品事業一部長　宮奥美行氏より「商品創りの面白さ～バーモントカレーを事例に～」のタイトルで講演をいただきました。

交流会では、生徒たちは株式会社いわさき相談役　岸下正二氏のご協力のもと、食品サンプルづくり体験として天ぷらとポテトサラダの製作及び食品サンプルとほんものを当てる「本物当てクイズ」を通じて全国の高校生同士が交流する機会を設けました。また先生方におかれましては、本ビジネスアイディア甲子園をどのように教育に活用されているのか、高校では何を必要とされているのか、今後の改善点等を話し合う情報交換の場としました。





今回のビジネスアイディア甲子園の運営は本学の学生を対象に実施している「大商大ビジネス･アイディアコンテスト」の入賞した学生が会場の設営、受賞者・審査員の誘導、司会、ステージマネジメント、賞状授与のサポートなどを担当しました。この取組は高校生に一番近い年齢であり、ビジネス・アイディアコンテストを経験しているという立場から接することができるとともに、学生自身の能力を発揮する場として、また入賞者同士の輪をつなぐきっかけとして取り組み、今後もより充実したつながりに成長させていきたいと考えています。

★グランプリ（1件）
「Ａｃｌｅ」
東京都立六郷工科高等学校　3年
佐藤 光さん



★準グランプリ（2件）
「自転車の新しい錠前」
広尾学園中学校・高等学校　1年
真鍋 光希さん



「風で飛ばない紙コップ『フンバルンバ!』」
（飛ばないシリーズ第二弾‼）
愛知県立豊橋工業高等学校　3年
グループ名「橋工 idea man's」
（代表者　小出 和輝さん・
小瀬木 柊一郎さん・星野 武朗さん）



★審査員特別賞（5件）
「代わりに話すインターホン」
大阪府立八尾北高等学校　1年
喜多 光瑠さん



「ふせんコロコロ」

大阪府立貝塚高等学校　３年
グループ名「コロコロし隊」
（代表者　北村 日向子さん・伊佐治 央子さん）



「３R rice seasoning」

北海道富良野緑峰高等学校　２年
グループ名「短パンこぞう」
（代表者　相澤 拓弥さん・海馬澤 永さん）



**「ファストフード店のドリンクの
フタのアイデア」**

大阪商業大学高等学校　２年
西田 賢司さん



「割り箸用バリアフリー箸クリップ」

岡山県立岡山東商業高等学校　３年
物部 祐季さん



★【学校賞】（20 校）

広尾学園中学校・高等学校（東京都）
埼玉県立八潮南高等学校
静岡県立伊東商業高等学校
愛知県立愛知商業高等学校
愛知県立一宮商業高等学校
愛知県立春日井商業高等学校
愛知県立緑丘商業高等学校
滋賀県立大津商業高等学校
大阪府立貝塚高等学校
大阪府立登美丘高等学校
大阪市立扇町総合高等学校
大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校
大阪商業大学高等学校
好文学園女子高等学校（大阪府）
岡山県立岡山東商業高等学校
岡山県立岡山南高等学校
岡山県立倉敷商業高等学校
広島県立広島皆実高等学校
九州産業大学付属九州高等学校（福岡県）
別府溝部学園高等学校（大分県）





☆学校賞☆（20 件の中から）

◉大阪府立貝塚高等学校　窪井 和希 教諭

挫折を発展に変えて

５年ほど前から応募しているが、学校賞をいただいたのも、決勝の舞台である最終審査に生徒のアイデアが残ったのも初めて。「やれるぞ」という手応えを感じている。

最初は「賞なんて取れるの？」と言っていた生徒たちだが、そのうちの１人が大学で賞を取り、報告に来てくれた。その生徒が３年の時、本校に来て指導してくれたのが、大商大の学生さんだった。

応募の過程で、企業の方の目で見てもらうと、足りない点が分かってくる。厳しい目なので、挫折もするが、やがて発展に変わる。ビジネスアイディア甲子園のような場を通して、さらにアイデアの発展のさせ方を学びたい。

【講評】　審査委員長　大阪商業大学経済学部　柴田 孝 准教授

８件のプレゼンテーションは、素晴らしい発表だった。レベルが高く、準備や練習、方法や工夫に敬意を表する。共通していたのは「身近な困難」「少しの優しさ」というキーワードだったと感じている。グランプリは「こういうものがあれば助かる」と思わせる。準グランプリの２件は、逆の発想の秀逸さ、先輩のアイディアを更に工夫する、などの点に感心した。他の５件も高い評価だった。

気になったのは、よく似た商品が既に市場に出ているケースがあった点。より独自性を出すため、事前のリサーチにも、これまで以上に力を注いでほしい。

ビジネスアイディア甲子園の運営は大阪商業大学の学生を対象に実施している「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」の入賞者が会場の設営、受賞者・審査員の誘導、司会、ステージマネジメント、賞状の授与のサポートなどを担当しました。



学生運営スタッフの紹介

上段左側から

商学科３年	坂本 達也
経済学科４年	田代 翔太
経済学科３年	片岡 長祥

下段左側から

経営学科４年	田中 伸我
経営学科４年	岸畑 雅美
商学科２年	山口 綾乃
商学科４年	林 亜祐美
経営学科１年	伊集 大悟